

令和5年度（第6回）生化学分野教科担当教員会議議事録

日時：2024年3月30日（土） 12：00～12：50

場所：パシフィコ横浜会議センター501

参加者：69名（資料1の出席予定者の通り）

議事

- ・本会議の座長について委員長校の名古屋市立大学が務めることが提案され、賛成多数で了承された。
- ・昨秋に薬学教育協議会からの命により実施した生化学関連実習に関するアンケートに関し、資料3に基づいて委員長校から報告があった。
- ・今後の生化学分野教科担当教員会議のあり方について、まず資料4の内容が委員長校から説明された。担当する範囲は生物系のほぼ全分野を含んでおり本会議の限られた時間内で議論することが難しいことから、本教員会議での実施が必要なものであるいは適当なものについては、ワーキンググループを設置していく方向で了承された。
- ・薬剤師国家試験の検討については、既に存在する物理・化学・生物部会と重複になる部分があるのではないかという意見が複数出た。国家試験関連のワーキンググループを設置するか否かは引き続き議論が必要であるとまとめられた。
- ・本教員会議では、令和4年度改訂コアカリの次のコアカリに含める生化学の内容について議論していくべきではないかという意見が昭和大学から出された。委員長校からも、生化学の技術は日々進歩しているが全てを教えることはできない。古い技術など教える必要がないと考えられるものもあり、生化学の内容についての検討が必要であるとの意見が出された。
- ・以上を踏まえ、令和6年度に、主にメール会議により、ワーキンググループの設置と人選について検討を進めることとした。
- ・資料5と資料6に基づき、令和6年度の委員長校と副委員長校は、それぞれ、令和5年度の副委員長校および参与校である星薬科大学と京都薬科大学が務めることが了承された。令和6年度の参与校については、令和6年度委員長校の星薬科大学から、北海道大学にお願いしたい旨が提案され、賛成多数で了承された。
- ・次回の本教員会議は、次年度の薬学会年会（福岡）において対面にて実施予定であることが、次年度委員長校の星薬科大学から示された。

以上